



# 業務部速報

2022. 9. 02 No.020

発行：J R東労組東京地本 業務部

安全・安定輸送と黒字化の実現に向けて (その6)

東地申第12号 2021年度「政策提言」の申し入れ団体交渉実施しました

11項・「ESG経営」の観点から

「NewDays」の期限切れ間近な商品の有効活用をすること。

11項・別紙説明(抜粋)

近年、環境問題や廃棄ロスへの関心が社会的に高まっている。期限切れ間近な商品の割引をしている店舗もあるが「NewDays」において大々的に展開する。

会社回答→期限切れ間近な商品の値引き販売のトライアルは既の実施されており、お客さまのご利用状況等の分析や今後の展開のあり方の検討を行っている。

<交渉の全項目の議論を終え、最後に国鉄改革を経験した組合側の出席者が意見を述べました>

(組合)

この場にいる昭和採用は私だけである。

今は大変革の時。これから新しい会社を作っていかなければならないという中で、現業でも非現業でも自由活発に議論ができていたのだろうか？国鉄からJRになってからの数年間はそういう気風があったが、それが時間の経過とともに、縦割りに戻ってしまった。そういう経緯がある。今日のような議論を全社員ができれば、この大変革はうまくいかない。

今日は労働組合の申し入れという場であったが、今後もぜひ建設的な議論をお願いしたい。

(会社)

協約に則り取り扱うこととなるが、貴側の主張は受け止める。

JR東労組東京地本は、2020年度の再建大会で確認した「再建の4本柱」のひとつ

**「第四は、何でも反対・対立ではなく、従属・癒着でもない、協力・提言のスタンスを堅持する。労使協力の原点に回帰する。」**

に基づき、今後も職場から挑戦します。